

令和2年度第1回黒石市中心市街地活性化協議会議事録

- 開催日時** 令和2年5月25日（月）15時00分～
- 開催場所** 黒石市産業会館4階「大会議室」
- 出席者名** 別紙出席者名簿参照
- 資料**
- ①次第・令和元年度事業報告書・収支決算書、監査意見書、令和2年度事業計画書（案）・収支予算書（案）
 - ②中心市街地活性化基本計画 新旧対照表
 - ③令和元年度黒石市中心市街地活性化基本計画活動実績についての意見書（意見徴収まとめ）
 - ④令和元年度黒石市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告
 - ⑤市民サービス施設の基本構想に関する資料
 - ⑥黒石市立図書館整備基本構想・基本計画

議事の経過

事務局の古川課長より開会を宣し、配布資料を確認。新岡常雄会長による挨拶ののち委員の変更について報告がなされ（黒石商工会議所青年部会長について村上拓世氏から新任の村上照幸氏へ変更）、協議会規約第13条第2項の規定により会長が議長に就任。

事務局より、総委員数26名中、出席者13名、委任状行使者10名と発表がなされ、協議会規約第13条第1項の規定により本協議会が設立することが報告された。

- 案件1 令和元年度事業報告並びに収支決算承認について
- 案件2 令和2年度事業計画（案）並びに収支予算（案）審議について
事務局より資料に基づき説明がなされたのち、真土委員より令和2年度事業計画（案）について下記の提案がなされ。

真土亨委員

「（1）黒石市が作成する基本計画（案）に関し～」の部分について、基本計画はもうできたので「（案）」を外してもいいのではないかと。

上記の提案について承認。他の部分に関しては原案通り決定した。

（次のページへ）

□案件3 令和元年度黒石市中心市街地活性化基本計画変更申請結果報告について
黒石市商工観光部・商工課の成田晃一課長補佐より、資料③に基づき説明がなされた。

□案件4 令和元年度定期フォローアップ報告について
黒石市商工観光部・商工課の成田晃一課長補佐より、基本計画を策定した団体は、毎年度事業実績をまとめたものに協議会の意見を付した報告書を内閣府へ提出する必要があると説明がなされた。また、報告書が受理されたのち、フォローアップ報告書を黒石市ホームページにて公開する旨が報告された。

□案件5 その他
複合宿泊施設「こみせの宿 ホテル逢春」の現状について逢春(株) 福原真一 代表取締役より下記通り説明がなされた。

- 5月8日に売店とホールをプレオープンという形で営業開始した。宿泊については6月1日にオープン予定だが、今月中に12名宿泊していただく予定である。
- 宿泊客に対し夕食の提供はなく、近隣の飲食店を紹介したり、希望があればホテルから予約を入れるなど、商店街との連携を図っていく。(朝食の提供は行方)

市民サービス施設について黒石市総務課・五戸真也課長より資料⑤に基づき説明がなされた。その際の質疑応答は以下の通り。

野呂晋一委員

旧大黒デパート解体の入札について落札予定額は決まっているのか。

市総務課・五戸真也課長

4億9,000万円ほどの金額で設計しており、黒石市のホームページにも公開している。

(次のページへ)

桑田泰孝委員

新型コロナウイルス感染症によるスケジュールへの影響や、緊急経済対策なども行っている中での財源確保については大丈夫なのか。

真土亨委員（黒石市商工観光部長）

現在行っている緊急経済対策は国や県の支援の枠組みで行っているため、現状本計画において影響はないと考えている。

黒石市立図書館整備基本構想・基本計画の取り組み状況について、黒石市企画課・徳田智樹課長補佐より資料⑥に基づき説明がなされ、設計事業者の選定については、一般競争入札ではなく公募型のプロポーザル形式を採用したことなどが報告された。

最後に、協議会アドバイザーである弘前大学・北原啓司教授より下記通り意見が述べられた。

北原啓司アドバイザー

中心となる施設の外部空間を上手く利用しないと人は集まらない。基本計画の新旧対照表において、市民サービス施設整備事業の部分で「広場」の整備について言及されたことは大事なことだと思う。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているこの時期だからこそ、わざわざその場所へ行くということは大事だと思う。市民にとっては新しくできる施設に「(市役所の) 何の課が入るか」以上に「そこに行ったら何ができるのか」が重要。各課で物事を決めて、空いたスペース他の施設を入れてしまうと今までとあまり変わらない。「何をやっていく場所になるのか」を議論し、それに合わせて課が動いていくようにすべきであり、そのためにはいくつかの課がまたがるようなこともあるかもしれない。

図書館については私自身もプロポーザルの審査員に選ばれた。そのため、プロポーザルの参加事業者には「中心市街地活性化のポイントとして図書館が建設されることをどう考えているか」について答えてもらうこととした。単なる図書館ではなく、この街全体とどうつながっていくかを考えてくれる方の提案を楽しみにしている。

以 上